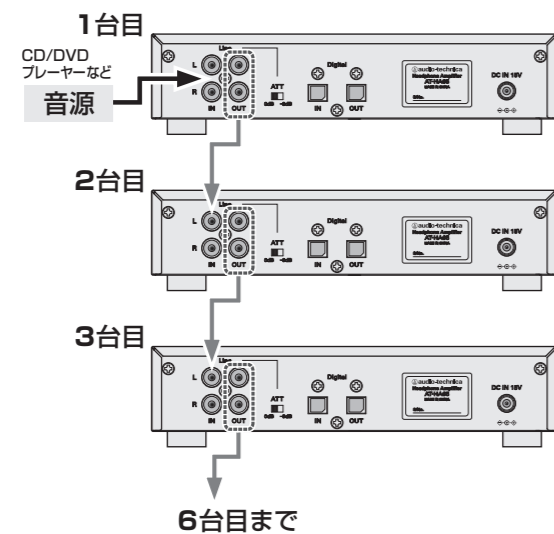
カスケード接続

本製品を複数台直列に接続して、同時使用やヘッドホンの数を増やして使用することができます。

接続機器の出力端子→ ライン出力端子

1台目のLINE出力端子を2台目のLINE入力端子に接続します。3台目からも同様に接続します。

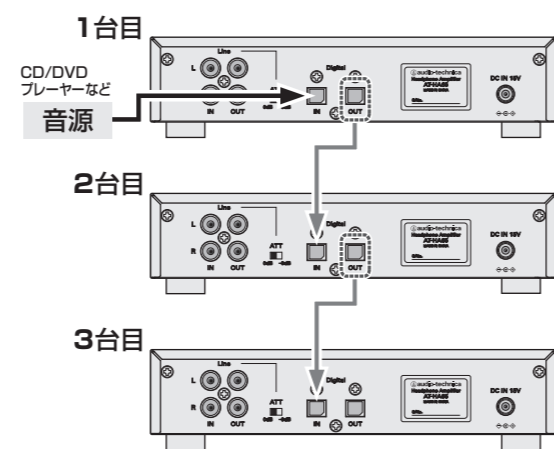
※本製品を複数台接続する場合、音源となる機器によっては本製品の台数が増えるにつれて音量が小さくなることがあります。
接続する本製品の台数は合計6台までをおすすめします。
本製品を7台以上（ヘッドホンを31台以上）接続する場合、接続機器の出力仕様をご確認ください。

1台目
CD/DVD
プレーヤーなど
音源
2台目
3台目
6台目まで

接続機器の出力端子→ 光デジタル出力端子

1台目のデジタル出力端子を2台目のデジタル入力端子に接続します。3台目も同様に接続します。

※デジタル出力端子は接続する本製品の台数に応じてノイズレベルが増加することがあります。接続する本製品の台数は合計3台までをおすすめします。

※本製品を4台以上（ヘッドホンを16台以上）接続する場合、本製品の前に光デジタル分配器（別売）を接続してください。

1台目
CD/DVD
プレーヤーなど
音源
2台目
3台目

テクニカルデータ

入力	：アナログ入力 S/PDIF準拠光デジタル入力
入力インピーダンス	：80kΩ以上（ATT 0dB） 27kΩ以上（ATT −9dB）
推奨負荷インピーダンス	：32Ω
適合負荷インピーダンス	：8Ω以上
対応サンプリング周波数	：8〜96kHz
対応量子化ビット数	：24bit
周波数特性	：20〜20kHz　−3dB（100mW出力時、32Ω負荷）
SN比	：97dB以上（LINE入力　0dBV出力時、JIS-A）
最大出力	：300mW×ステレオ5チャンネル （1kHz、10%T.H.D、32Ω負荷）
全高調波歪率	：0.1%以下（1kHz、100mW出力時、32Ω負荷）
出力インピーダンス	：8Ω以下
電源	：DC15V（付属のACアダプターを使用、日本国内専用）
入力端子	：LINE入力　ピンジャック デジタル入力　角形光ジャック
出力端子	：LINE出力　ピンジャック デジタル出力　角形光ジャック ヘッドホン出力　φ6.3mmステレオ標準ジャック
外形寸法	：H44×W210×D130.5mm（突起部除く）
質量	：約1.0kg
付属品	：ACアダプター（AD-SD1508AD）

（改良のため予告なく変更することがあります。）

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間･規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先（電話受付／平日9：00〜17：30）
製品の仕様･使いかたや修理･部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

●**相談窓口（製品の仕様･使いかた）** 0120-773-417
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp

●**サービスセンター（修理･部品）** 0120-887-416
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp

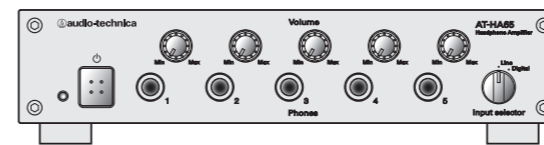
●**ホームページ（サポート）**　www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp
222303280B

取扱説明書

audio-technica

ヘッドホンアンプ

AT-HA65

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

特長

- ●ヘッドホンを最大5台まで接続可能な300mW＋300mWの高出力ヘッドホンアンプ
- ●フロントボリュームで各ヘッドホンの音量を独立調整
- ●入力はアナログ1系統と光デジタル1系統で、それぞれフロントパネルで選択
- ●ライン入力と光デジタル入力（角形光端子）をスルーで出力
- ●デジタル入出力は24bit、32/44.1/48/96kHzの各サンプリング周波数に対応
- ●カスケード接続*により同時に使用するヘッドホンの数を増設可能

＊複数を直列に接続すること

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計をしていますが、使いかたを誤ると事故が起こることもあります。
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

⚠警告

●**付属のACアダプター以外使用しない**
故障、不具合の原因になります。
●**異常に気付いたら使用しない**
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあったら、すぐにコンセントから抜き、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
●**分解や改造はしない**
感電、故障や火災の原因になります。
●**強い衝撃を与えない**
感電、故障や火災の原因になります。
●**濡れた手で触れない**
感電やけがの原因になります。
●**水をかけない**
感電、故障や火災の原因になります。
●**本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない**
感電、故障や火災の原因になります。
●**布などでおおわない**
過熱による火災やけがの原因になります。
●**同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない**
事故や火災の原因になります。

⚠注意

●**不安定な場所に設置しない**
転倒などによりけがや故障の原因になります。
●**直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない**
故障、不具合の原因になります。
●**火気に近づけない**
変形、故障の原因になります。
●**ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない**
変形、故障の原因になります。

ACアダプターについて

⚠警告

●**AC100V以外の電源には使用しない（日本国内専用）**
過熱による火災やけがの原因になります。
●**本製品以外には使用しない**
過熱による火災やけがの原因になります。
●**異常に気付いたら使用しない**
異常な音、煙、臭いやコードなどの発熱、損傷などがあったら、すぐにコンセントから抜き、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
●**コードは伸ばして使用する**
釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない
過熱による火災やけがの原因になります。
●**コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む**
過熱による火災やけがの原因になります。
●**コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする**
断線、故障の原因になります。
●**コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない**
断線、故障の原因になります。
●**分解や改造はしない**
感電、故障や火災の原因になります。
●**強い衝撃を与えない**
感電、故障や火災の原因になります。
●**濡れた手で触れない**
感電やけがの原因になります。
●**布などでおおわない**
過熱による火災やけがの原因になります。
●**プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る**
過熱による火災やけがの原因になります。
●**ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない**
変形、故障の原因になります。

⚠注意

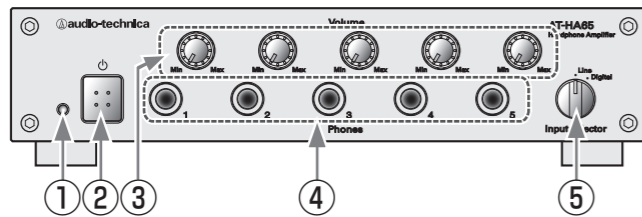
●**長時間使用しないときは、コンセントから抜く**
省エネルギーにご配慮ください。
●**足に引っかかりやすい場所にコードを引き回さない**
故障や事故の原因になります。
●**通電中のACアダプターに長時間触れない**
低温やけどの原因になることがあります。

使用上の注意

- ●ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- ●本製品は密閉された場所などを避け、風通しの良い場所に設置してください。
- ●本製品を複数台使用する場合は、積み重ねないでください。また、本製品の上に物を置かないでください。
- ●本製品は内部の温度上昇によって自動的に動作を停止することがあります。その場合は、電源を切り温度が下がってから、再度電源を入れてください。
- ●接続するケーブルの抜き差しは、本製品の電源を切ってから行なってください。
- ●接続するケーブルはプラグを持って根元まで確実に差し込んでください。
- ●本製品でドルビーデジタル信号を直接再生することはできません。
- ●DVDプレーヤーなどから本製品の光デジタル入力端子に接続する場合、プレーヤーのデジタルオーディオ出力を「PCMダウンミックス」などに設定してください。

- ●φ6.3mmステレオ標準プラグ以外のヘッドホン端子と接続する場合は、適切な変換プラグアダプターをお買い求めください。
- ●接続する際、ステレオピンケーブルまたは角形光デジタルケーブルが別途必要です。接続する機器にあわせて、適切なケーブルをお買い求めください。

各部の名称と機能

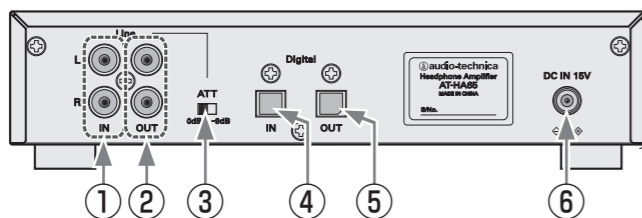
正面

①POWERインジケーター
POWERスイッチをオンにすると点灯します。

②POWERスイッチ（⏻）
電源をオン/オフするプッシュ式スイッチです。
押すとオンになり電源が入ります。もう一度押すとオフになります。

③CH-1～5　ヘッドホンボリューム（Volume）
ヘッドホン出力端子CH-1～5に接続されたヘッドホンの音量を調整します。つまみをMinの方向に回すと音量が小さくなり、Maxの方向に回すと大きくなります。

④CH-1～5　ヘッドホン出力端子（Phones）
5台のヘッドホンが同時に使用できます。
形状はφ6.3mmステレオ標準ジャックです。
＊ヘッドホンの種類によって聞こえる音量に差があります。

⑤入力切換スイッチ（Input selector）
スイッチを回して入力機器（LineまたはDigital）を選択します。

背面

①LINE入力端子（Line IN）
CDプレーヤーやDVDプレーヤーなど音源となる機器のライン出力端子と接続します。または本製品を2台以上接続する場合に使用します。形状はピンジャックです。

②LINE出力端子(Line OUT)
ライン入力端子のある機器に接続します。または本製品を2台以上接続する場合に使用します。形状はピンジャックです。
電源のオン／オフに関係なくスルーで出力します。

＊増設する場合、増設台数に応じてヘッドホンの音量が小さくなることがあります。詳細は「**カスケード接続**」を参照してください。

③LINE音声入力レベル切換スイッチ（ATT）
LINE入力端子の入力レベルを切り換えます。
接続機器の出力レベルが大きく音が歪む場合、スイッチを－9dBに切り換えます。

④光デジタル入力端子（Digital IN）
CDプレーヤーやDVDプレーヤーなどのデジタル機器の光出力端子に接続します。または本製品を2台以上接続する場合に使用します。形状は角形光ジャックです。
＊詳細は「**カスケード接続**」を参照してください。

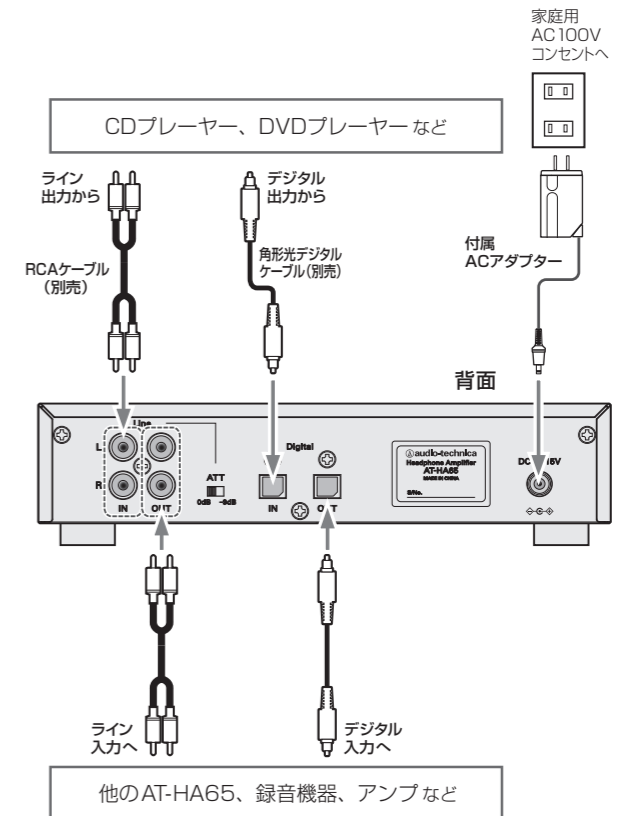
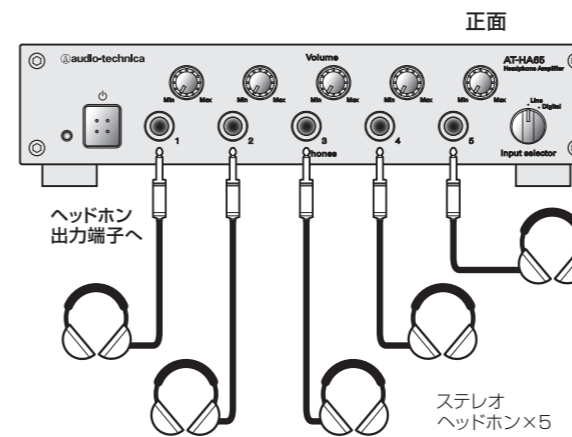
⑤光デジタル出力端子（Digital OUT）
デジタル機器の光入力端子に接続します。
または本製品を2台以上接続する場合に使用します。
形状は角形光ジャックです。
光デジタル入力端子からスルーで出力します。
＊詳細は「**カスケード接続**」を参照してください。

光デジタル入力端子および光デジタル出力端子は電源をオンにしてご使用ください。

⑥DC入力端子（DC IN 15V）
付属のACアダプターを接続します。

使いかた

＊接続する機器の取扱説明書をあわせてお読みください。
＊接続する前に各機器の電源を切ってください。

1. 本製品の入力端子と接続したい機器の出力端子を接続します。
2. 付属のACアダプターを本製品とAC100Vコンセントに差し込みます。
3. 接続機器の電源スイッチをオンにします。
4. ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続します。
5. 本製品のヘッドホンボリュームを小さくしてからPOWERスイッチをオンにします。
6. 入力切換スイッチで接続した機器を選択します。
7. 各チャンネルのヘッドホンボリュームを調整します。

ブロックダイアグラム

本製品の回路構成を表わしています。